



ふれあい

415号

2026年10月発行

医療法人 百花会
上野公園病院

大分県日田市大字高瀬2226-1

電話 0973-22-7723

病院における感染防止対策について

東2病棟 看護師 高坂貢

病院は、病気の治療を行う場所であると同時に、免疫力の低下した患者様が集まる場所でもあります。そのため「病原体を持ち込まない」「広げない」「持ち出さない」という徹底した管理体制が必要です。

1：標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底

感染症の有無に関わらず、全ての患者様に対して行う最も基本的な対策です。

- ・手指衛生：アルコール消毒や石鹸による手洗いを、ケアの前後や入退室時に徹底します。
- ・个人防护服（PPE）：血液や体液に触れる可能性がある場合、手袋、マスク、ガウン、ゴーグルなどを適切に着用します。
- ・咳エチケット：咳やくしゃみが出る際はマスクやティッシュで口鼻を覆い、飛沫拡散を防ぎます。
- ・空気感染対策：N95マスクの着用や、陰圧室（空気が外に漏れない部屋）での管理。
- ・飛沫感染対策：サージカルマスクの着用と、患者様同士の距離の確保。
- ・接触感染対策：専用のケア用品の使用や、手すり・スイッチなど手が触れる場所の頻繁な消毒。

2：組織的な取り組み

病院全体で安全な医療を提供するための体制を整えています。

- ・環境整備：換気の徹底や、医療器具の適切な洗浄・滅菌・廃棄物の適正処理を行います。

3：患者様・ご家族へのお願い

院内感染を防ぐためには、皆様のご協力が欠かせません。

- ・病院入り口での検温や手指消毒へのご協力
- ・体調不良時の面会自粛。

私達スタッフも感染対策に取り組んでおりますが、皆様のご理解ご協力も必要です。どうか今後ともよろしくお願いいたします。



備蓄食品について

管理栄養士 田嶋 翔子

生きていく上で、食事は欠かせないものです。今回は、皆さんに備蓄食品の大切をお話しさせていただきます。大規模震災が発生すると電気、上下水道、ガスなどのライフラインが停止し、生活に大きな支障が生じます。電気は、水道やガスに比べて、復旧が早いものの、東日本大震災（H23年）では、復旧まで7～8日、熊本地震（H28年）では4日、能登半島地震（R6年）では、30日かかりました。農林水産省発表の「災害時に備えた食品ストックガイドブック」によると、食品の備蓄量は、最低3日分、推奨7日分、地域によっては、2週間分とされています。ライフラインに左右されない常温の備蓄食品を日頃から備えることをお勧めします。何を備蓄した方がいいのかは、何を日頃

から食べているかによります。食べ慣れていないものを備蓄しても口に合わないものやおいしいと感じないものもあります。日頃食べているもので、常温でも保存できるものを備蓄しましょう。



認知症作業療法の魅力

西1 作業療法士 長田智幸

はじめまして。7月より西1病棟で勤務しています、作業療法士の長田智幸です。私は、これまで主に回復期リハビリテーションで、病気やけがをされた方の「もう一度やってみたい」を支援してきました。今は、認知症の方と関わりながら、これまでとは違う作業療法の魅力を感じています。認知症のリハビリというと、「難しい練習をするのかな？」と思われるかもしれませんが、でも、実はもっと身近なもので、おしゃべりをしたり、音楽を聴いたり、手足を動かしたり、食事や着替えをしたり。そんな毎日の何気ない時間も大切なリハビリになります。当院では、できることを増やすだけでなく、「今できていることを大切にする」「安心して過ごせる時間をつくる」ことも大切にしています。ご家族とお話をする機会が限られる中でも、日々の様子や表情、何気ない一言からその方らしさを見つけていきたいと思います。「今日も楽しかった」「ここに来て良かった」と思っていただけの時間を、一緒につくっていきます。

